



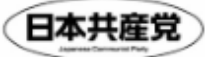
久保田由夫 ほっと通信



NO. 96

2020. 1月号

【部内資料】



発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>



<季節の写真>

こぶし会館(共産党事務所)で見つけた、ふきのとう。春を感じます。(上)
晴天に恵まれた元旦のすばらしい景色。(下) (依田地区の水田から)



野党連合政権構想がカギ

◆台風19号被災者の皆さんにお見舞い申し上げます。また、被災者支援に尽力された皆さんに心より敬意と感謝いたします。◆日本列島は4つのプレート上に位置しており地震災害のリスクに加えて、毎年台風が発生します。今、政治に必要なのは、防災・減災にもっと力を入れることではないでしょうか。◆市は12月議会で50億円を超える補正予算を組みましたが、さらに数億円が必要とのことです。通常に戻るには2~3年かかりそうです。◆年明けから通常国会が始まります。総選挙は、政権選択の選挙です。野党共闘が深化して、野党政権構想がカギとなります。アベ政治に代わるたしかな選択肢を示すべく頑張っていきます。



2020年元旦 上田駅前での街頭宣伝
左から、古市順子市議、久保田由夫市議、渡辺正博市議、高村京子県議、成瀬拓市議

「太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」が8月1日全面施行

◆市内4カ所で環境や防災上危険のリスクが高まる恐れのある大規模太陽光発電施設の問題では、一昨年の市長の現地視察を契機に条例制定の動きが進み、6月議会において条例制定にこぎつけました。引き続き、開発業者への監視が必要です。

台風19号災害被災者生活再建支援制度を創設

◆私は、12月議会で、台風災害に関して市独自の被災者支援制度を創設するように要求。上田市は、さっそく補正予算を組み「令和元年台風第19号災害被災者生活再建支援」制度を創設。対象は床下浸水から床上浸水までで約400件、総額4,139万円。既存の市の見舞金を含めて5,745万円です。国や県による「見舞金・生活再建支援金」を補完するものです。

12月 フォト通信



右上から、姉妹都市である練馬区からの災害支援職員の皆さんと。第9回生活と健康を守る会の総会。長瀬地蔵尊で二年詣り。中段上から、鮎沢党長野県委員長らが土屋陽一市長へ義援金。鹿教湯温泉入り口の長野大学生によるイルミネーション。テレビ信州で放送された「椀子のしずく」。左上から、武田良介議員、藤野保史議員らが鹿教湯温泉の役員と懇談。上田駅前での緊急国会報告する藤野保史衆議院議員。椀子ワイナリー関係者と送別会兼忘年会で。



上小・東御生活と健康を守る会総会

